

第1号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策計画書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 〒210-0861
 住 所 神奈川県川崎市川崎区小島町4番2号
 氏 名 ナステック株式会社
 代表取締役 安藤 修 印

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第9条第1項（同条第4項において読み替えて準用する場合を含む。）の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	ナステック株式会社		
主たる事務所又は 事業所の所在地	川崎市川崎区小島町4番2号		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者（任意提出事業者）		
主たる事業 の業種	大分類	E	製造業
	中分類	22	鉄鋼業
主たる事業 の内容	金属の精錬、及びステンレス鋼の加工		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	8,731	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	総務部 環境・安全チーム
		所在地	川崎市川崎区小島町4番2号
		電話番号	044-271-3411
		FAX番号	044-271-3414
		メールアドレス	
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計 画 期 間	平成25年度 ~ 平成27年度
温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
備 考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
3 計画書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
4 ※印の欄は記入しないでください。
5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

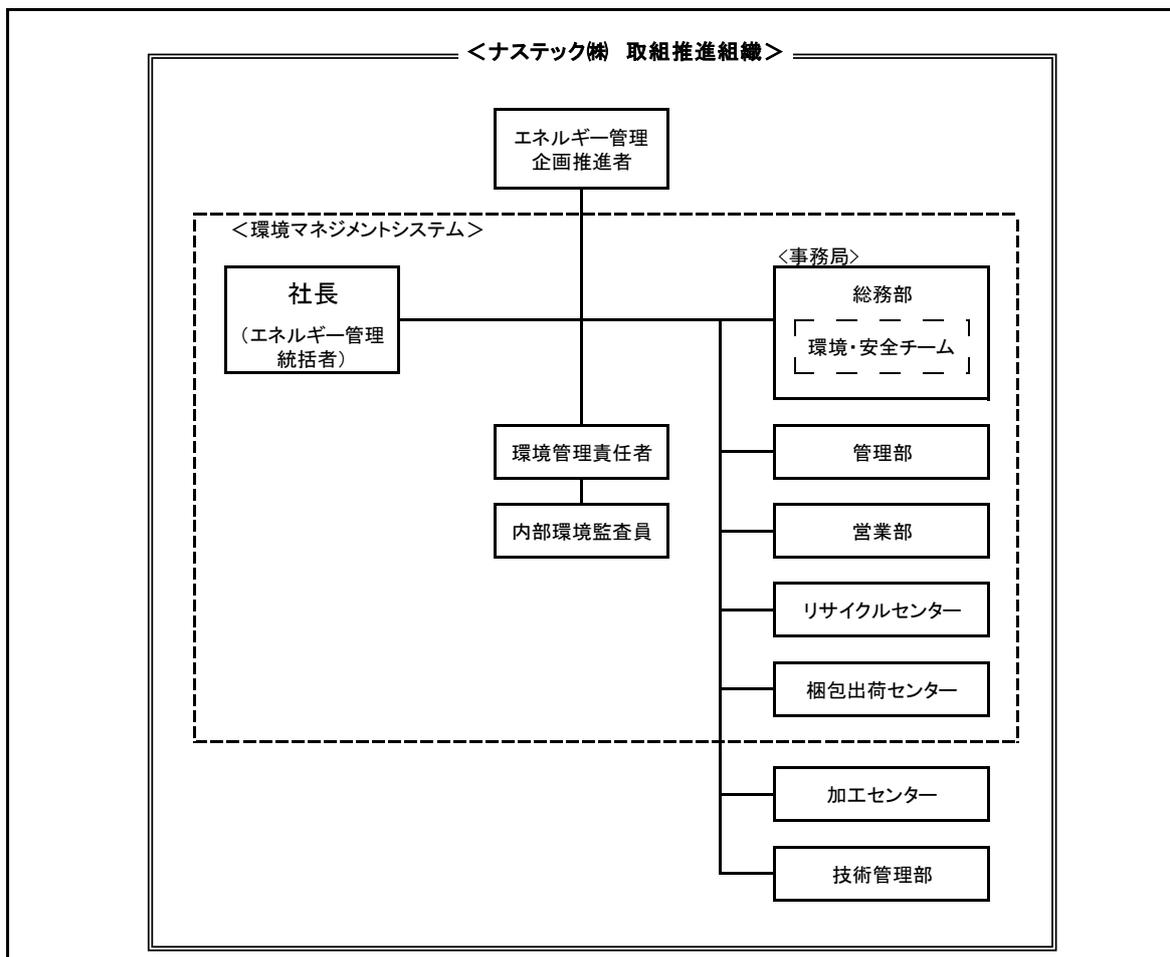
事業活動地球温暖化対策計画

1 温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針

ナステック㈱は日本冶金工業㈱川崎製造所生産活動の一翼を担い、その副産物の加工、梱包用製品の製造及び梱包出荷サービスを主業務とした生産活動を行う中で、下記の環境保全活動に努め社会に貢献することを目指す

1. ステンレス特殊鋼製造の副産物から有用メタルを分離回収する。更に徹底した資源の有効活用と産業廃棄物の抑制に努める
2. 生産活動にあたっては、環境汚染の予防と関連する法規制やその他の要求事項を遵守するとともに、省エネルギーに努め、温室効果ガスの削減への取り組みを行う

2 温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制



3 温室効果ガスの排出の量の削減目標等（第1号、第2号、第4号該当者等）

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量

ア 基準排出量と目標排出量

基準年度	平成24年度	目標年度	平成27年度
基準排出量	(実) 22,291 (調) 22,268	t-CO ₂	(実) 22,167 t-CO ₂
削減率	(実) 0.6	%	(実) 124 t-CO ₂

イ 基準排出量原単位等と目標排出量原単位等

原単位の活動量	生産数量	単位	t-CO ₂ /t
基準年度の値	2.406	目標年度の値	2.379
削減率	1.1	%	
延床面積、生産数量以外の原単位を使用した場合の理由			

ウ 目標設定に関する考え方

温室効果ガスの排出量原単位の削減を図るため、排出量原単位の値を3ヵ年で1%以上削減することを前提に目標を設定した。
 温室効果ガス総排出量の87%を担う還元炉工場において、操業を改善することで省エネルギーを進め、目標達成を目指す。

(2) 温室効果ガスの排出の量の削減目標（全社目標）

--

5 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の内容

<p>事業所等に係る温室効果ガスの排出の量の削減を達成するための具体的措置</p> <p>(第 1 号、第 2 号、第 4 号該当者等)</p>	<p>○空気調和設備、換気設備の新設における措置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・還元炉工場集塵機用ファンの省エネを油圧多板クラッチによる回転数制御方式からインバーター方式に変更することで省エネ効果増を図る。 ・還元炉新規建屋集塵装置の新設にあたり、回転数制御による変風量システムを採用し省エネを図る。 ・還元炉新規建屋集塵装置の新設にあたり、建屋開口部を一部塞ぐことで空気調和負荷の低減を図る。 <p>○照明設備の新設、更新等における措置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・照明設備の新設、更新にあたっては極力LED化することで省エネを図る。
<p>自動車に係る温室効果ガスの排出の量の削減を達成するための具体的措置</p> <p>(第 3 号該当者等)</p>	

(2) 再生可能エネルギー源等の利用計画及び前年度末における利用実績

ア 再生可能エネルギー源等の利用に係る考え方

価格面で採算が取れるなら積極的に導入を進めていく。
(現在のところ導入の予定無し)

イ 再生可能エネルギー源等の利用計画及び利用実績

設備等の種類	概要(規模、導入場所、性能等)	導入年度	備考

ウ 再生可能エネルギー源等の価値の保有計画及び保有実績

種類	概要(規模、場所等)	保有年度	備考

(3) 基準年度の末日までに完了した主な対策内容

温室効果ガスの目標排出量を達成するため、還元炉操業改善による原単位低減を3ヵ年継続実施するとともに、具体的にはこれまで次のような取り組みをしている。

- ・消費エネルギー量削減(=CO2削減)に向けた推進体制を整備した。(平成22年度)
- ・平成24年1月26日の「川崎市事業活動地球温暖化対策計画書に係る立入調査」時の提言に基づき、管理標準の見直しを実施した。(例①：団鉱原料乾燥炉 空気比m=1.2、例②：団鉱原料乾燥炉 側壁温度 $\leq 70^{\circ}\text{C}$ 、等全10件の見直しを実施)(平成23年度)
- ・還元炉焙焼設備においてLPGからLNG(都市ガス)への燃料転換を実施した。この結果、LNG(都市ガス)の年間使用量は約360千m³となり、LPGから転換したことによるCO2削減量は年間約150tCO₂と推定される。(平成25年1月)

6 他者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項

なし

7 その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項

(1) 還元炉ダストの工場内リサイクル推進による廃棄物減量

ア 輸送に係るCO2の削減

イ 廃棄物リサイクル工程でのCO2削減

(2) 還元炉ダストの吸湿防止対策による質量低減

ア 輸送に係るCO2の削減

様式第 1 号

(第 7 面)

8 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績

(1) 事業者単位

ア 第 1 号、第 2 号、第 4 号該当者等

(実)	22,291	t-CO ₂
(調)	22,268	

イ 第 3 号該当者等

(実)		t-CO ₂
(調)		

(2) 事業所等単位 (第 1 号、第 2 号該当者等)

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500k1 以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
ナステック株式会社	川崎市川崎区小島町4番2号	2239	その他の製鋼を行わない鋼材製造業	22,291 t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500k1 以上 1,500k1 未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500k1 未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400~500k1 未満	
300~400k1 未満	
200~300k1 未満	
100~200k1 未満	
100k1 未満	

(3) 事業所等単位 (第 4 号該当者等)

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量 (二酸化炭素換算) が 3,000 t 以上 (二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。) の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量 (二酸化炭素換算) が 3,000 t 未満 (二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。) の事業所の数

事業所数	
------	--